

家も車も仕事も同じ こよなく愛する造形物

CGクリエイター

小畑正好さん



間取りも空間も理想の
スタイルを追い求めて

アニメ「ポケットモンスター」、ゲーム「ファイナルファンタジー7」、今村昌平監督作の映画「カンゾー先生」……。CGクリエイターとして小畑さんが携わった作品は枚挙に暇がない。CG草創期にその道へ入り、バブルがはじけても仕事の勢いが増していく中、28歳、独身で注文住宅を新築。「結婚しても住むつもりで、車やオモチャを置いて仕事もしやすい一戸建てを建てました」

やがて結婚し、長男を授かる。快適に暮らせる家だったが、長女が生まれるころ、程近い場所にひと回り大きな土地が見つかった。「そこで、やりたいことがすべてかなう家を作ることにしたんです。最初の家は、廊下と間仕切りを極力減らした大空間が特徴でした。そのコンセプトをベースにしたつ、一邸目で実現できなかった空間を加えて、理想のスタイルをプランニングしていきました」

Profile

おばたまさよし 1966年、和歌山県生まれ。元早稲田大学教授(理工学)。武蔵野美術大学大学院在学中に渡米。帰国後、NHKエンタープライズを経て、島精機製作所にCGスーパーバイザーとして所属。ゲーム、アニメ、映画と数々のCG作品を手掛け、第一人者として活躍。現在、イベントのプロデュースなど、クリエイティブ活動の場を広げている



1階は中庭とテラス、2階はバルコニー、3階は屋上、と続く小部屋。建物を囲む外空間が上下階のつながりを生み出している

Hint Quality

マテリアルやアートにこだわった和の遊び

リビングの竹林図は幅約3mの大作。水墨画の大家、杉本洋氏に依頼し、中庭の黒竹に着想を得て描かれた。和室のふすまも特注で、雫を垂らして凹凸をつけたり、銀粉を散らして紋様をつけたもの。



Hint

Condition

露天風呂気分を味わえる屋上に設けたジャグジー

3階の屋上に設けたジャグジー。周辺に高い建物がないので開放感たっぷり。親子一緒に涼を取れる夏だけでなく、雪見風呂のように使える冬も満喫。心身をリフレッシュする場のひとつに。

Hint

Communication

フレキシブルに使えるパーティールーム

ゲストを迎えるためのパーティールーム。来客のない日は、一体成型の広々アイランドカウンターで子どもの宿題を見たり、ワークスペースにしたり。サブキッチンとしても活躍する。



Hint

Pleasure

愛車がさりげなく見える距離感を演出したガレージ

門扉と玄関、中庭を結ぶ外廊下のスリット越しに眺められるのが、ランボルギーニカウンタック5000QV。ガラスブロックをあしらひ、拡散する柔らかい光に包まれるショールームのような雰囲気。



1階のリビングダイニングは、テラス側に全面強化ガラスを採用。窓のような縦桎がない「透明の壁」として屋内外の一体感を生んでいる。床材をテラスと同じ黒のタイル材にしたことも効果的

愛車とオモチャとアートが詰まった芸術の館

自宅でも複数の仕事を同時進行することが多い小畑さん。大空間にこだわりつつ、間取りをブラッシュアップして機能的な動線に。「LDKや和室、パーティースペースなど、各空間が隣接している」と、どこで作業しても行き来しやすく、家族ともかわりやすいんです。大空間をL字やS字に変形させてコーナーをたくさんつくったことで、大人数のゲストが来ても人が分散しつつ気配を感じ合える。大人数でも家族だけでも過ごしやすい間取りになりました。念願の屋上やジャグジーを取り

入れ、暮らしの楽しみも広がった。「屋上で花火大会の打ち上げを眺めたり、雪の日に露天風呂気分がジャグジーに入ったりするのは至福のとき。子どものころに憧れていたカウンタックを、出入りするたびに見られるシンボリックなガレージも欲しかったものでした」さらに3階には、映画で使用した本物の小道具やフィギュアが並んだ小畑さんのオモチャ部屋。住まいの至るところには陶芸や水墨画、彫刻が飾られている。「CG、車、オモチャ、アート。そして家も僕にとっては同じように興味のある造形物なんです」そう話す小畑さんの愛情が随所に表れる住まいとなった。